

成年向

お嫁さんの

エルフ

其の3



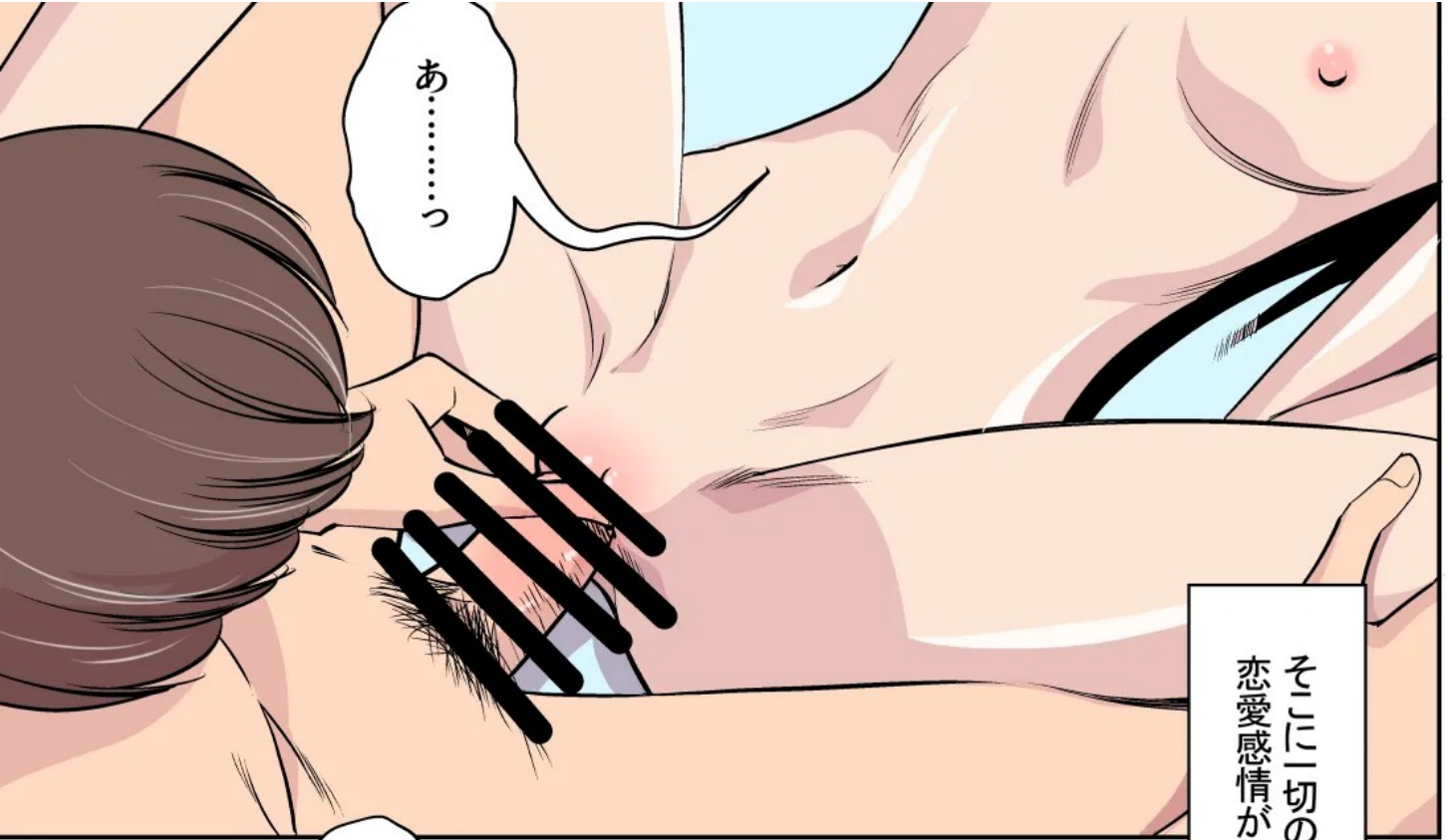
こんなに綺麗な  
エルフの女性が

オレのお嫁さんだなんて

じゃ...じゃあ  
そろそろ、挿れるよ

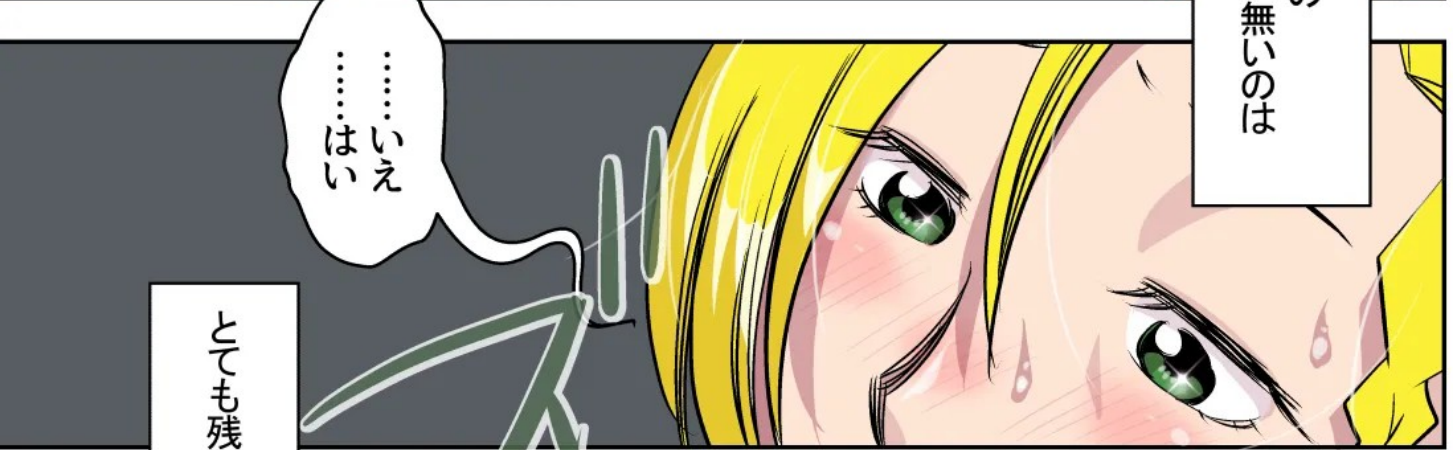
はい  
お願いします...





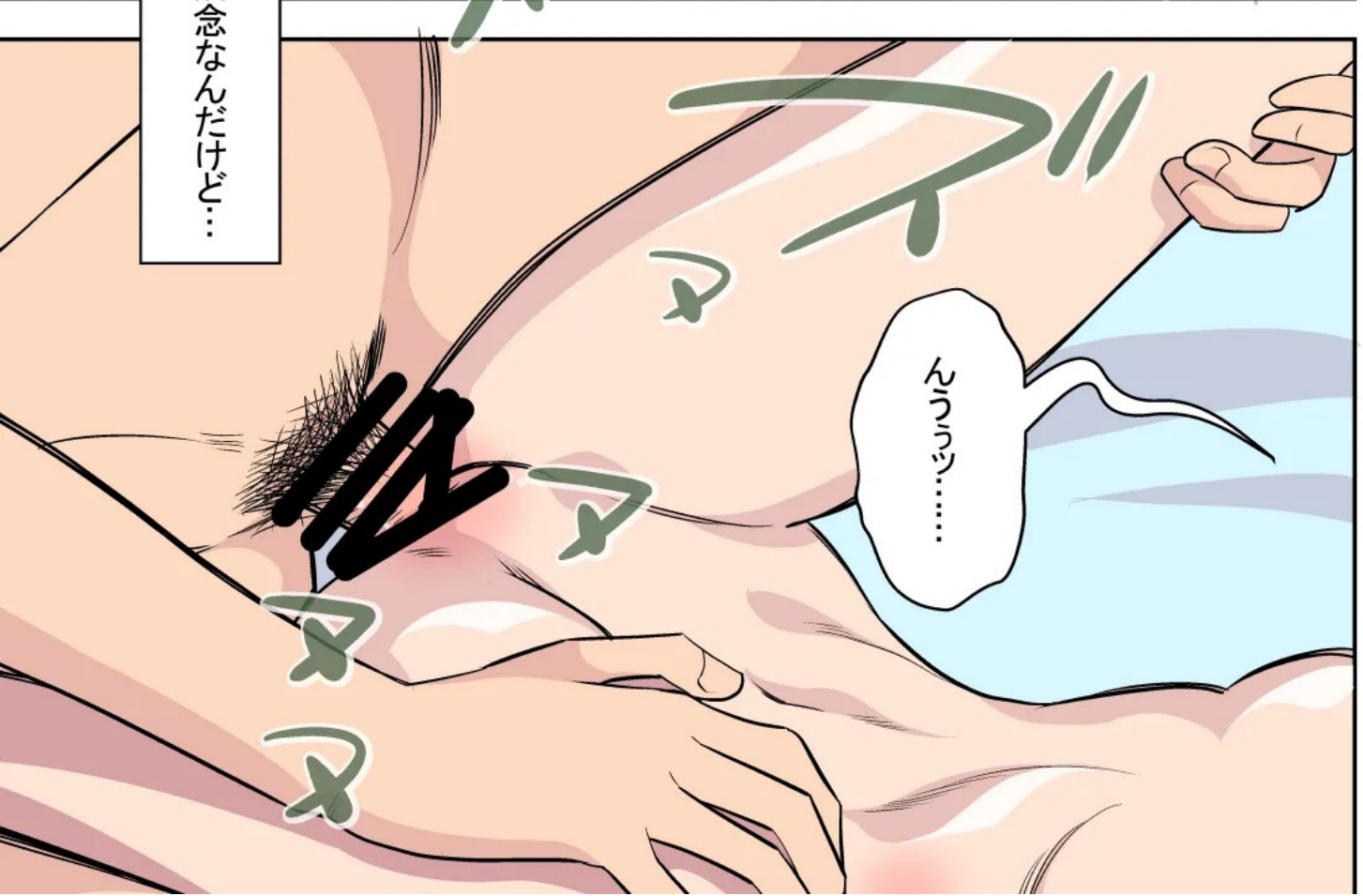
あ……っ

そこに一切の  
恋愛感情が無いのは

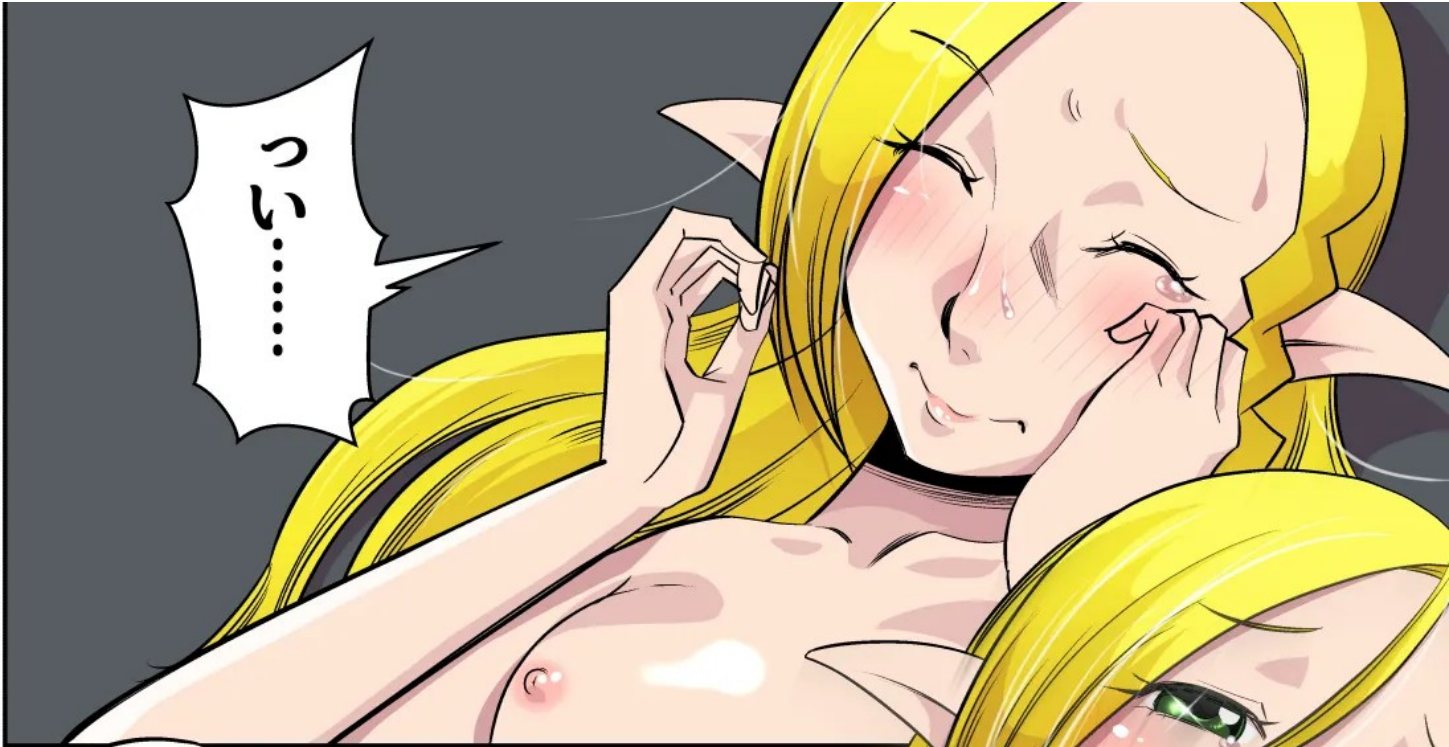


……いえ  
……はい

とても残念なんだけど……



ん……っ



うさ……



痛い……

昨日の夕方  
会社からの帰路で  
彼女に呼び止められた

その人間

私はリリア

【大精霊の導き】により  
あなたの伴侶となるために

うわ、綺麗な人…  
外国人？ いや…  
エルフ……？

この世界とは  
異なる世界から  
渡ってきました

「異世界からの渡航」  
そういうのがあるという話は  
テレビやネットで見たことが  
あったが

まさか当事者  
になるなんて  
思ってもみなかった

はい  
エルフ課？

そういう係が  
あるんですね？

市役所？  
わかりました

警察じゃなくて  
役所の分担みたい

って言っても  
わからないか…

そうですね  
こちらの世界の  
ルールのことは

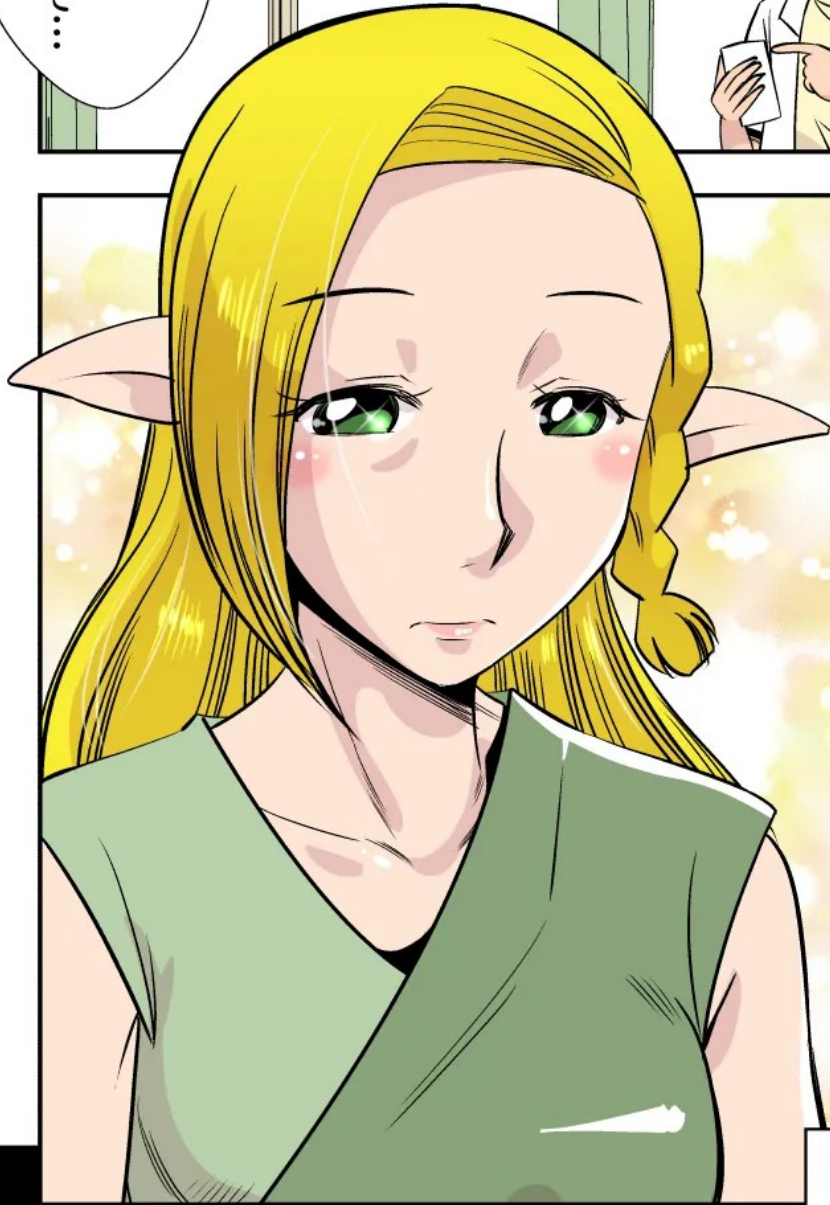
どうやら  
苦労を掛けて  
いるようですね



あ…いや…

うん…  
いいんだ…

……にしても  
こんな美人が  
オレの伴侶って…



伴侶ってつまり  
結婚相手ってことだろ？

彼女いない歴〓年齢  
のオレには大ラッキー  
なんだけど…

ドキュメント番組で  
「エルフと結婚した男」  
を観た時は

押しかけて  
結婚しろって  
言うんですよ



なんて羨ましいい…

と思ったものだが

……うん

羨ましいぞ、オレ

?

明日は一緒に  
市役所に行つて…

あーいや

そうですね  
お任せします

こちらの世界の事は  
まったくわかりません

私の世界と違い過ぎて  
驚くことばかりです

帰り方も…  
まあ、その気も  
無いですが

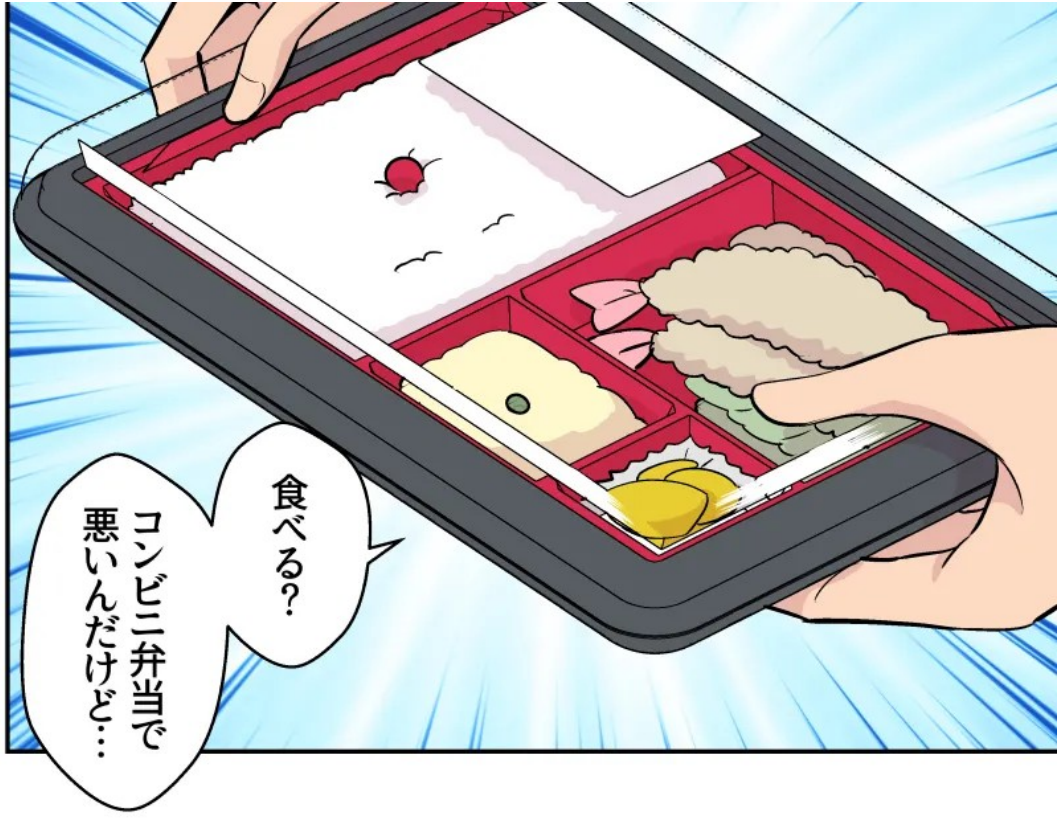
すべては  
【大精霊のお導き】  
なんですし

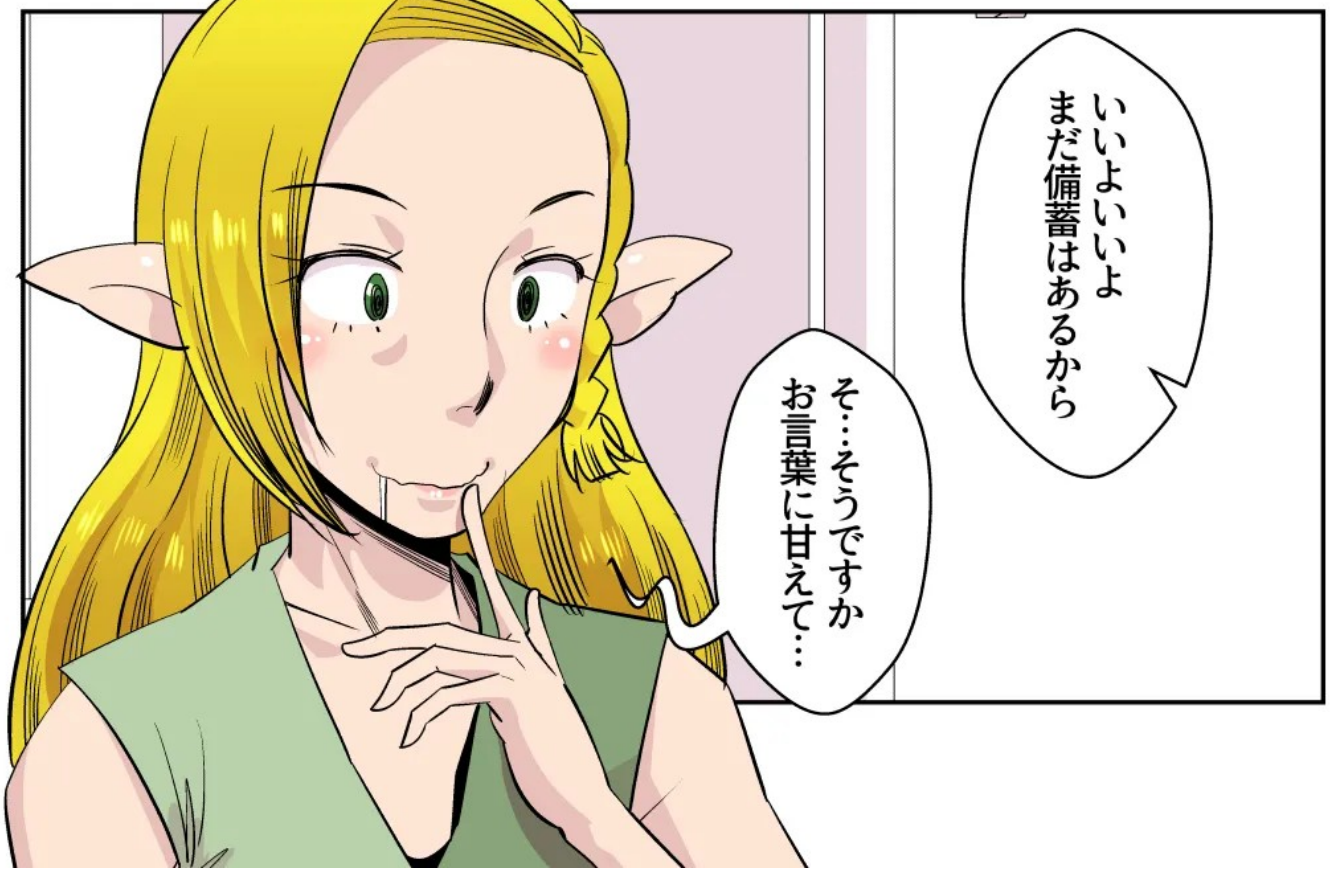
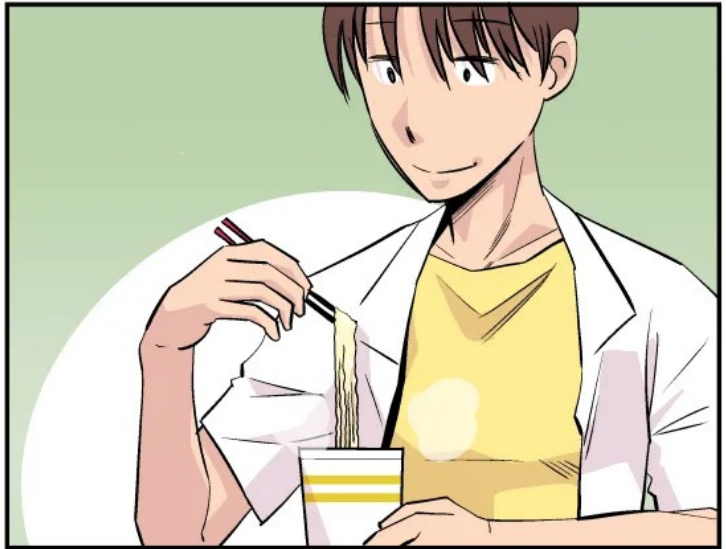
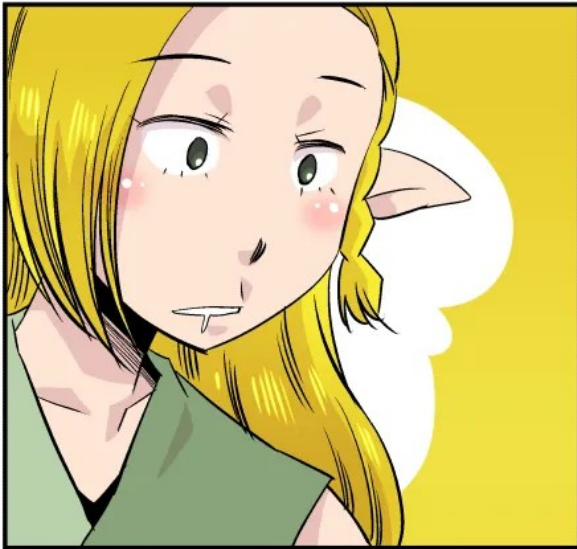
「じゃあ、また明日  
市役所で会いましょう」  
ってわけにはいかないのか

今晚どうするの？  
って身寄りも  
無いわけだし

泊まるの？  
この部屋に？  
オレと？

と……とりあえず





その後、彼女は  
カップ麺を二つ平らげ

こっちの世界に渡って以来  
初めての食事だったので…

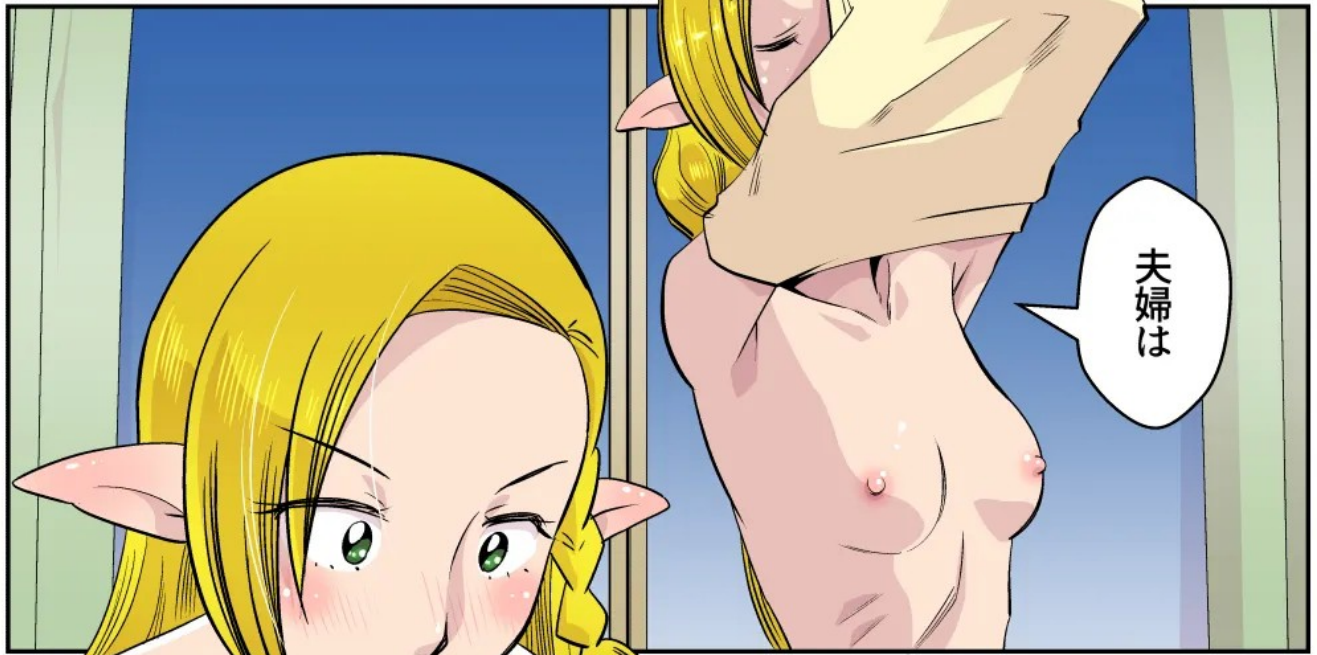
と照れくさ  
そうに言った

昨晩は  
公園の木の上で  
野宿をしたらしい

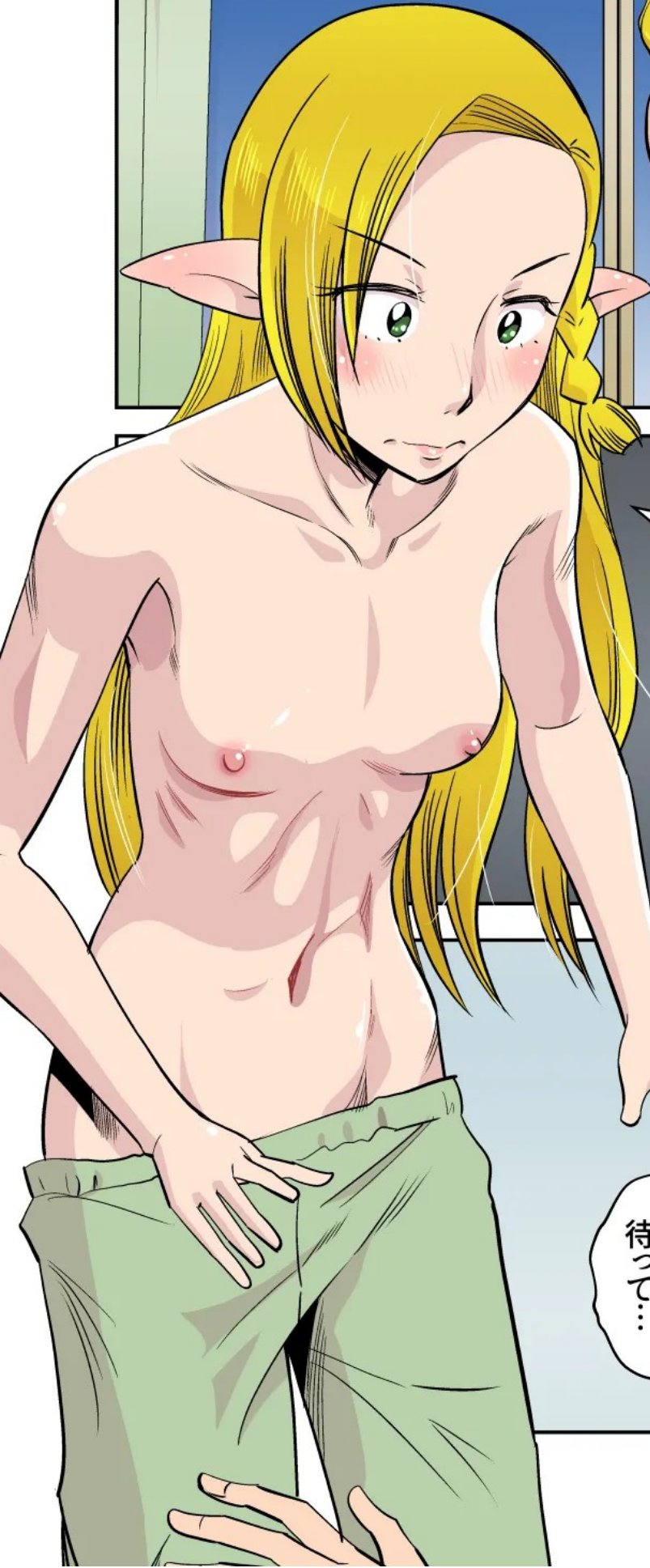
じゃあオレは  
寝袋で寝るから

ベットを使ってよ

……え？



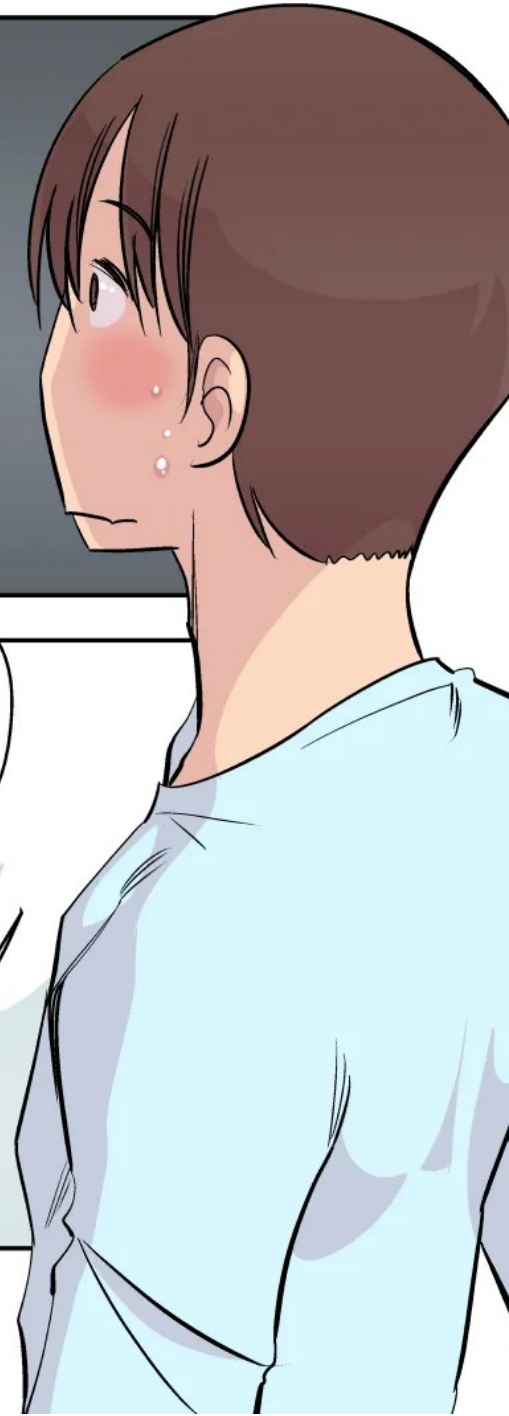
夫婦は



夜を共に  
するもの

ですねよ

待って  
待って  
……





こっちの世界に  
来たばかりで

疲れてるよね？

とりあえず  
服は着てよ



今晚はゆっくり  
休んだ方が  
良くないかな？

そう…ですか

ダメですか…  
私では…

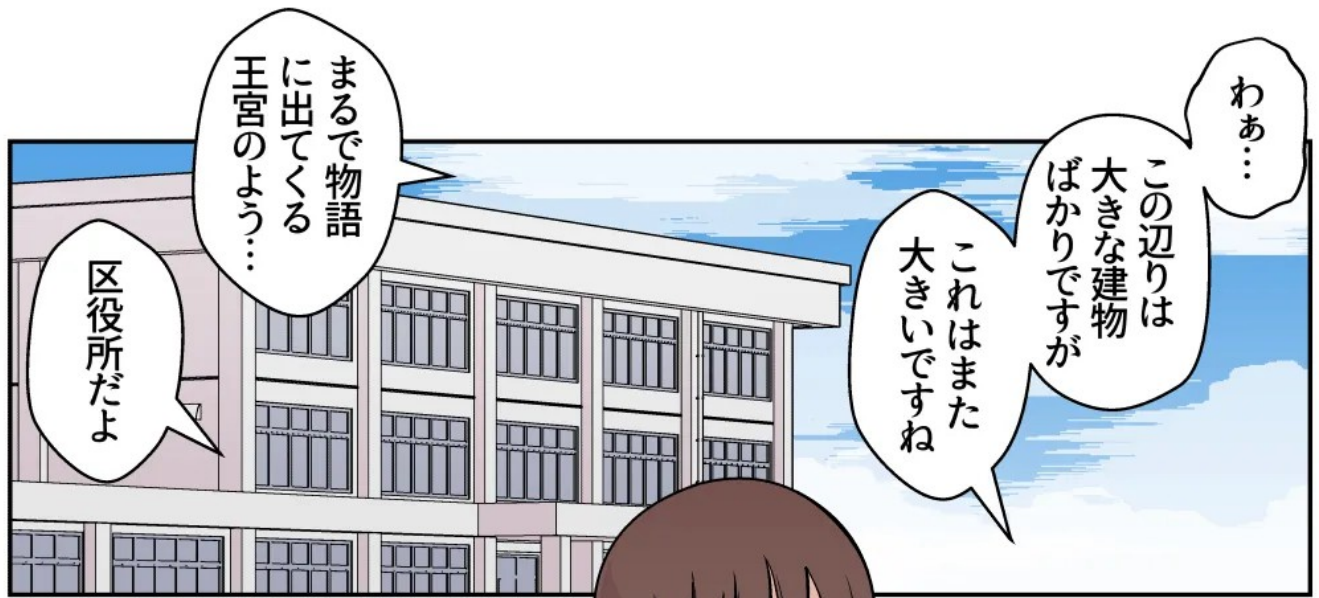


わかりました

お休みなさい

その夜中、彼女の  
すすり泣く声が聴こえた

彼女はもう故郷に  
帰れないんだ  
泣きたくもなるよな



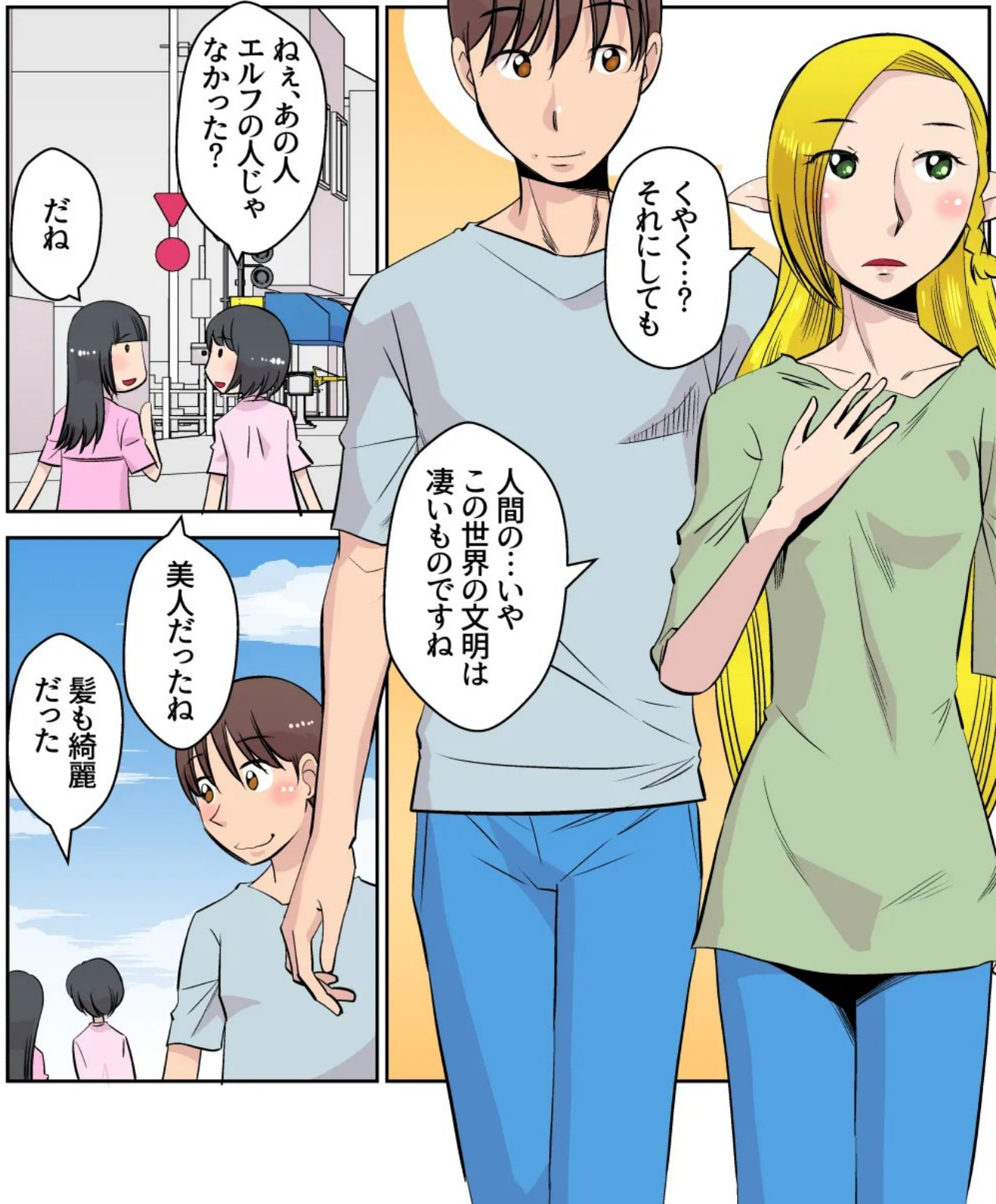
わあ…

この辺りは  
大きな建物  
ばかりですが

これはまた  
大きいですね

まるで物語  
に出てくる  
王宮のよう…

区役所だよ



くやく…??  
それにしても

人間の…いや  
この世界の文明は  
凄いものですね

ねえ、あの人  
エルフの人じゃ  
なかった?

だね

美人だったね

髪も綺麗  
だった

会議室

区役所でオレ達は  
いくつかの書類を  
作成・提出し

職員でエルフのエミリアさん  
から「エルフについて」の  
説明を受けることになった

内容は主に  
【大精霊の導き】のことなど  
エルフの基本的な価値観

【大精霊の導き】は  
エルフにとっては  
大前提の教義らしい

それに対して  
反発するどころか

疑問を持つことさえ  
ありえないことらしい

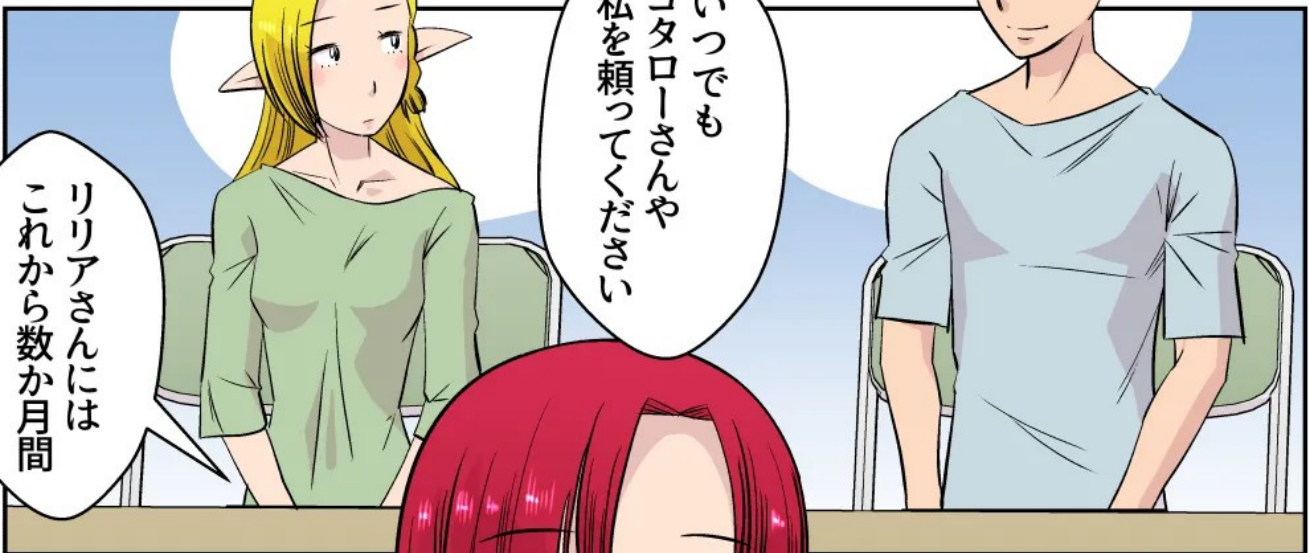
この世界では  
常識ではなかったん  
ですね……

その【大精霊】が  
オレと結婚するようにと  
リリアに示したのか……



また、リリアには  
日本で暮らすための  
最低限のルールを

もちろん  
一朝一夕で身につく  
ものではないですし



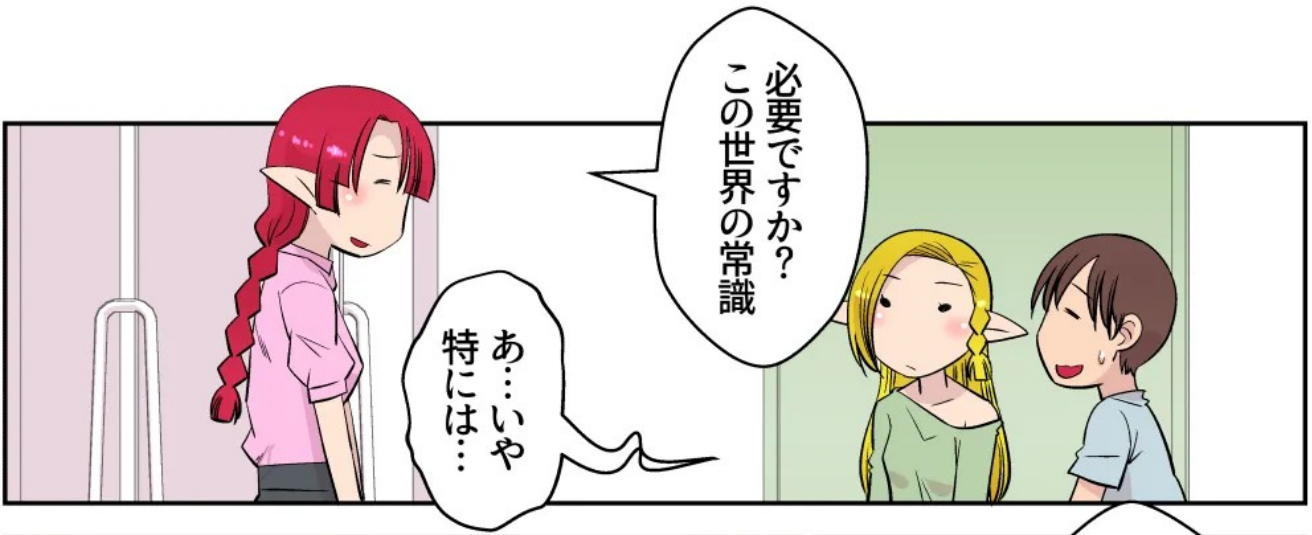
いつでも  
コタローさんや  
私を頼ってください

リリアさんには  
これから数か月間



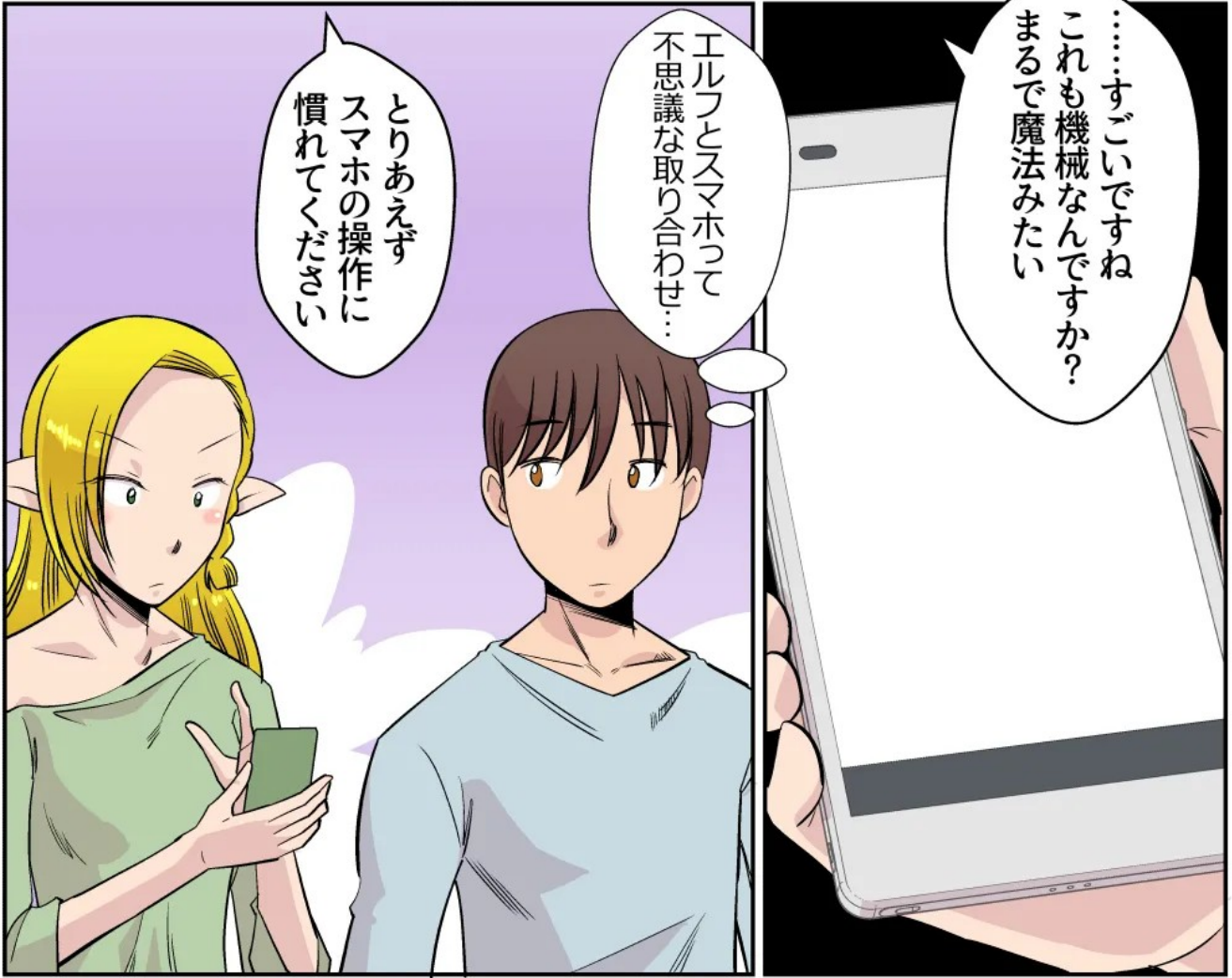
役所や学校の一室を借りて  
講義を受けてもらいます

オレは…？



必要ですか？  
この世界の常識

あ…いや  
特には…



…すごいですね  
これも機械なんですか？  
まるで魔法みたい

エルフとスマホって  
不思議な取り合わせ…

とりあえず  
スマホの操作に  
慣れてください



コタローさん  
少しお話が  
あります

はい？

なんですか？

え…とお

コタローさんには  
言いにくい事なのですが

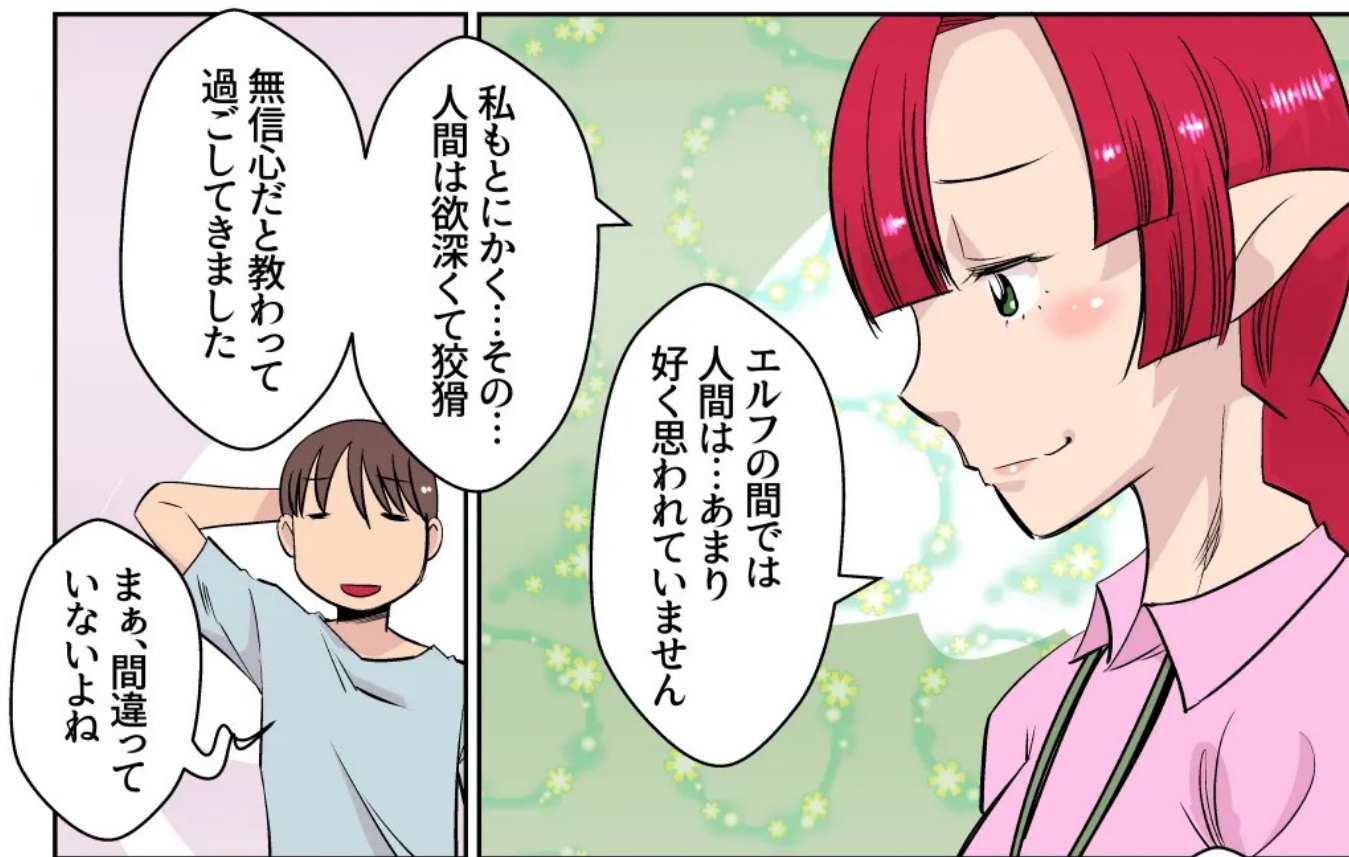


エルフの間では  
人間は…あまり  
好く思われていません

私もとにかく…その…  
人間は欲深くて狡猾

無信心だと教わって  
過ごしてきました

まあ、間違っ  
ていないよね

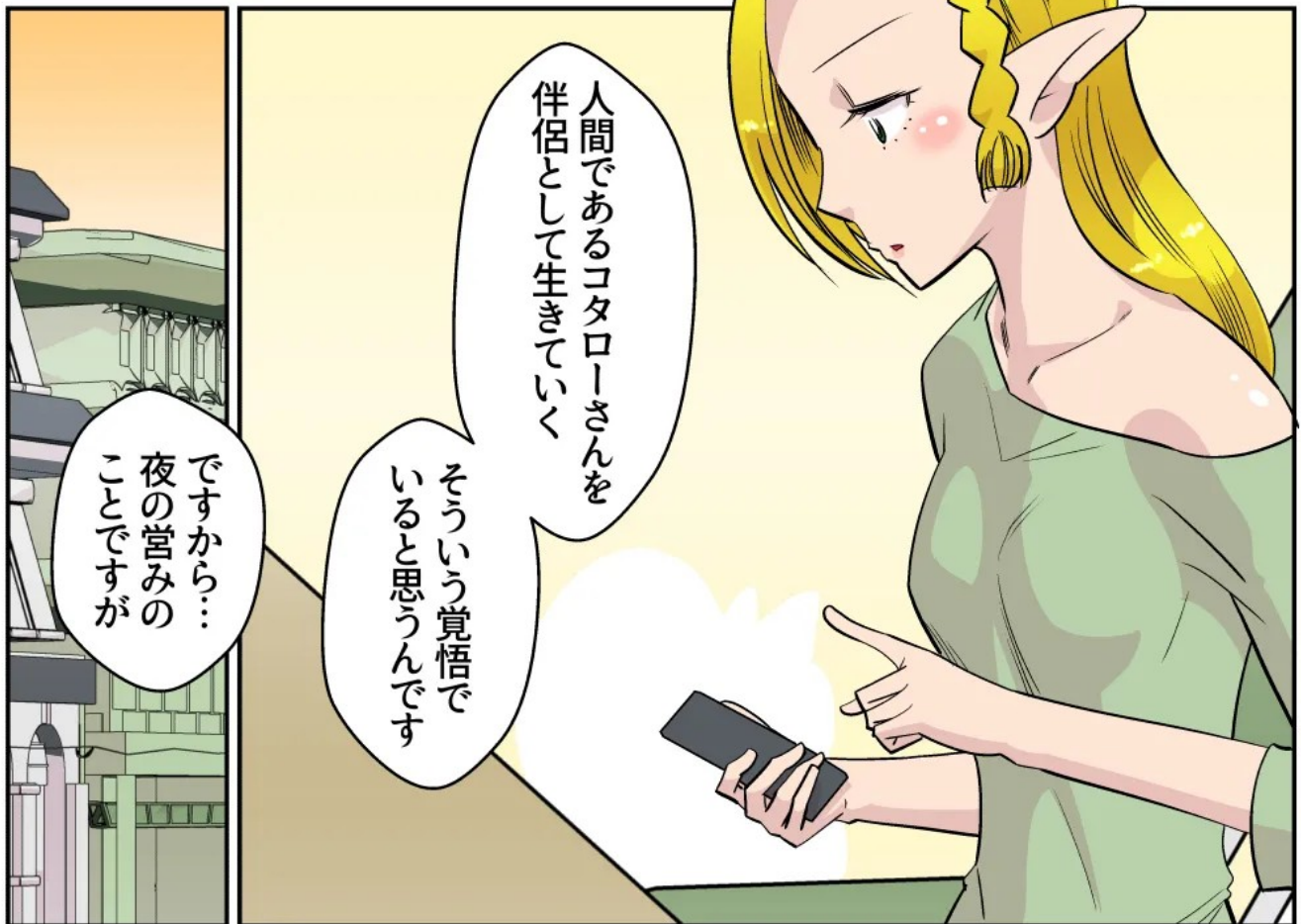


コタローさんが  
そうだと云ってる  
わけではなくて…

ただ…今  
リリアさんは

そういう世界観の中で  
こちらの…人間の世界で





人間であるコタローさんを  
伴侶として生きていく

そういう覚悟で  
いると思うんです

ですから…  
夜の営みの  
ことですが

その後、エミリアさんの  
アドバイスに従って

リアの衣服や  
生活必需品等を  
購入したりして

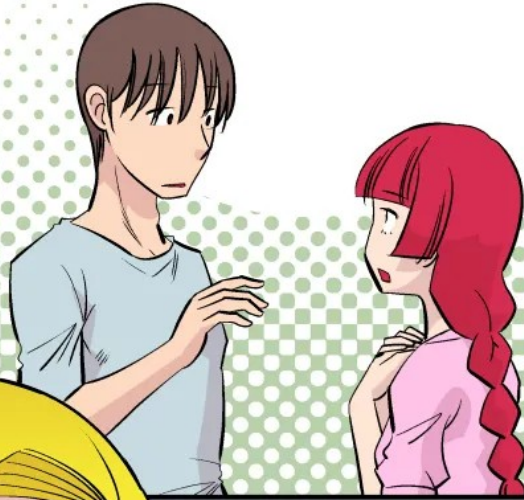
慌ただしく  
一日が過ぎた



そして、その夜

「今のリリアさんにとっては  
まず貴方に自身を捧げることが」

「この世界に来た  
意義になっています」



疲れてませんよ

オレにとっては  
降って沸いた  
幸運だけど

「受け止めてあげてください」

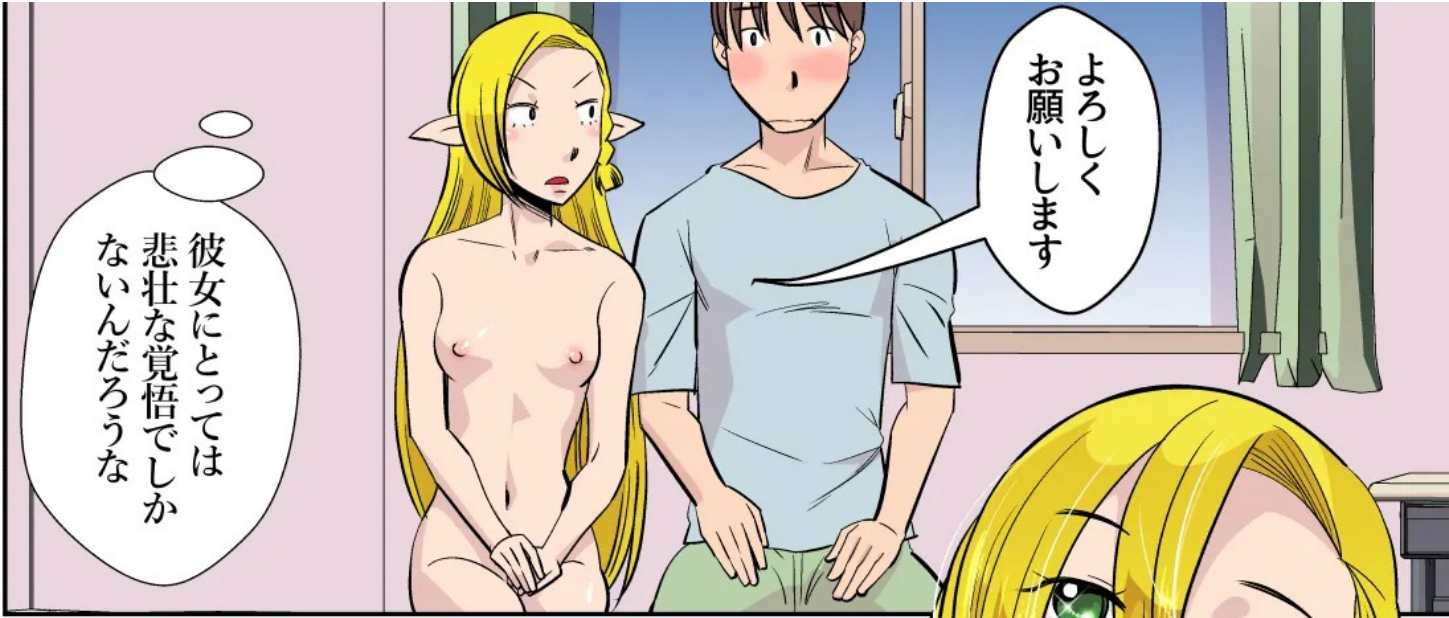
……うん

ねえ、コタロー

今夜は

……私





よろしく  
お願いします

彼女にとっては  
悲壮な覚悟でしか  
ないんだろうな



まあ、女性の裸を  
生で見たことなんて  
無かったけど

う…うん



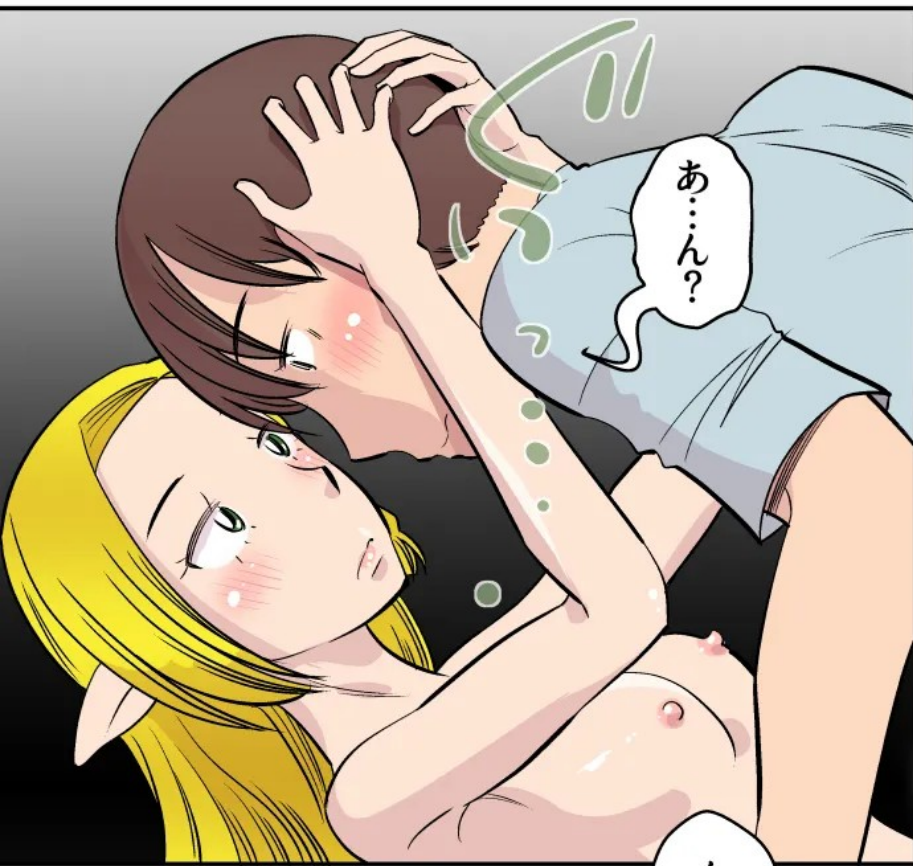
そんなに真剣に  
見ないでください

恥ずかしいじゃ  
ないですか…



ここからは  
お任せすればよいと  
教わっています

こんなきれいな裸  
初めて見た…





すご……  
小さい舌が  
オレの口の中を  
舐めまわして

舌に絡んでくる

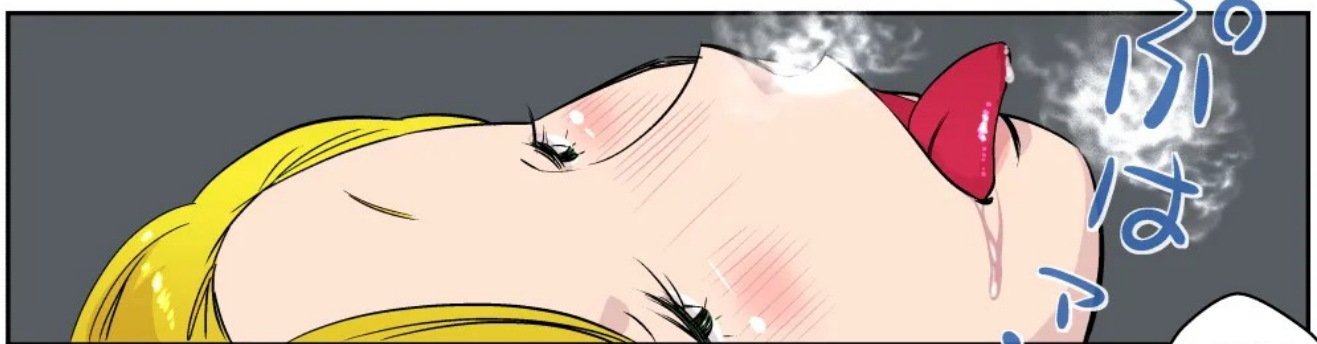
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

んむ…

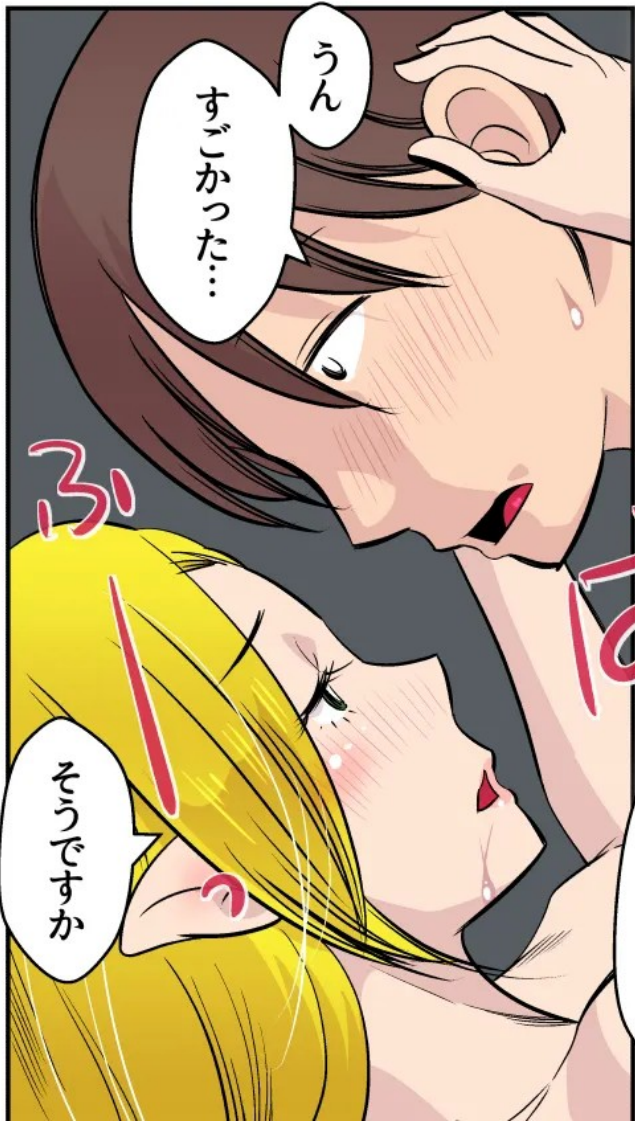
んじゅ…

んじゅ



くは  
くは  
くは

初めて  
だったのですが

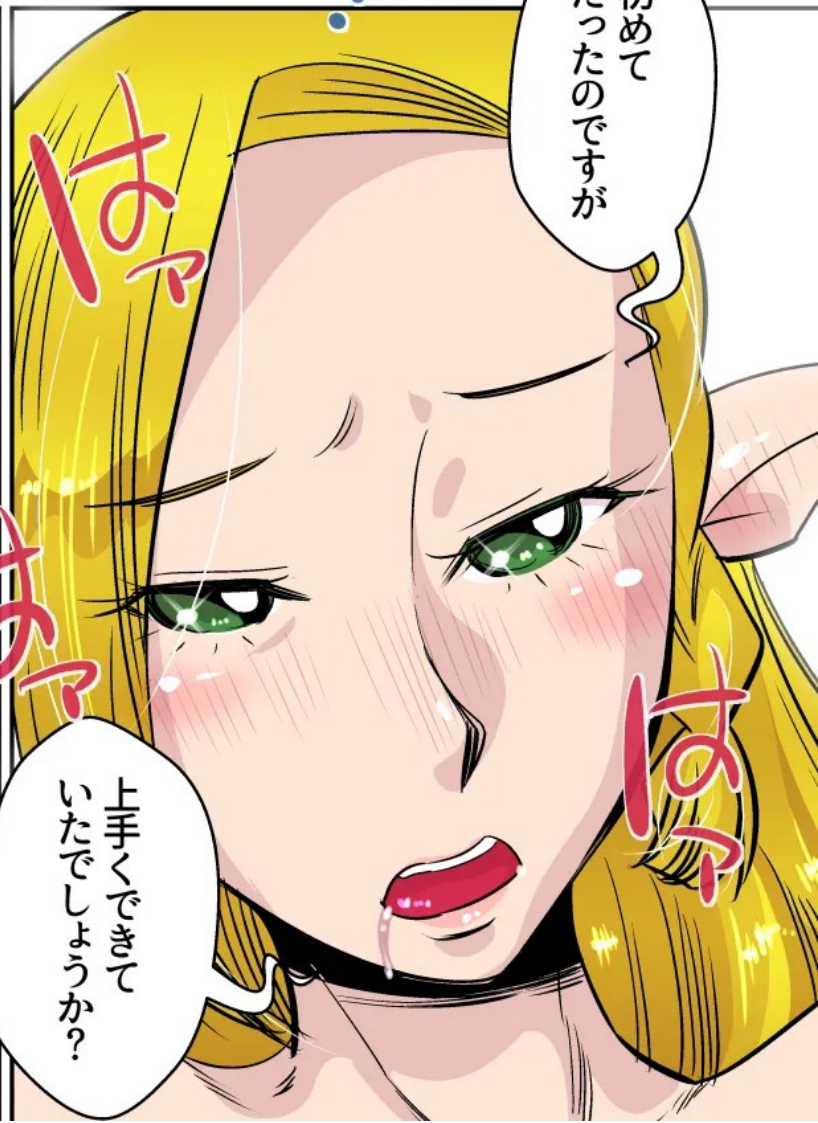


すごかった…

うん

ふ

そうですか

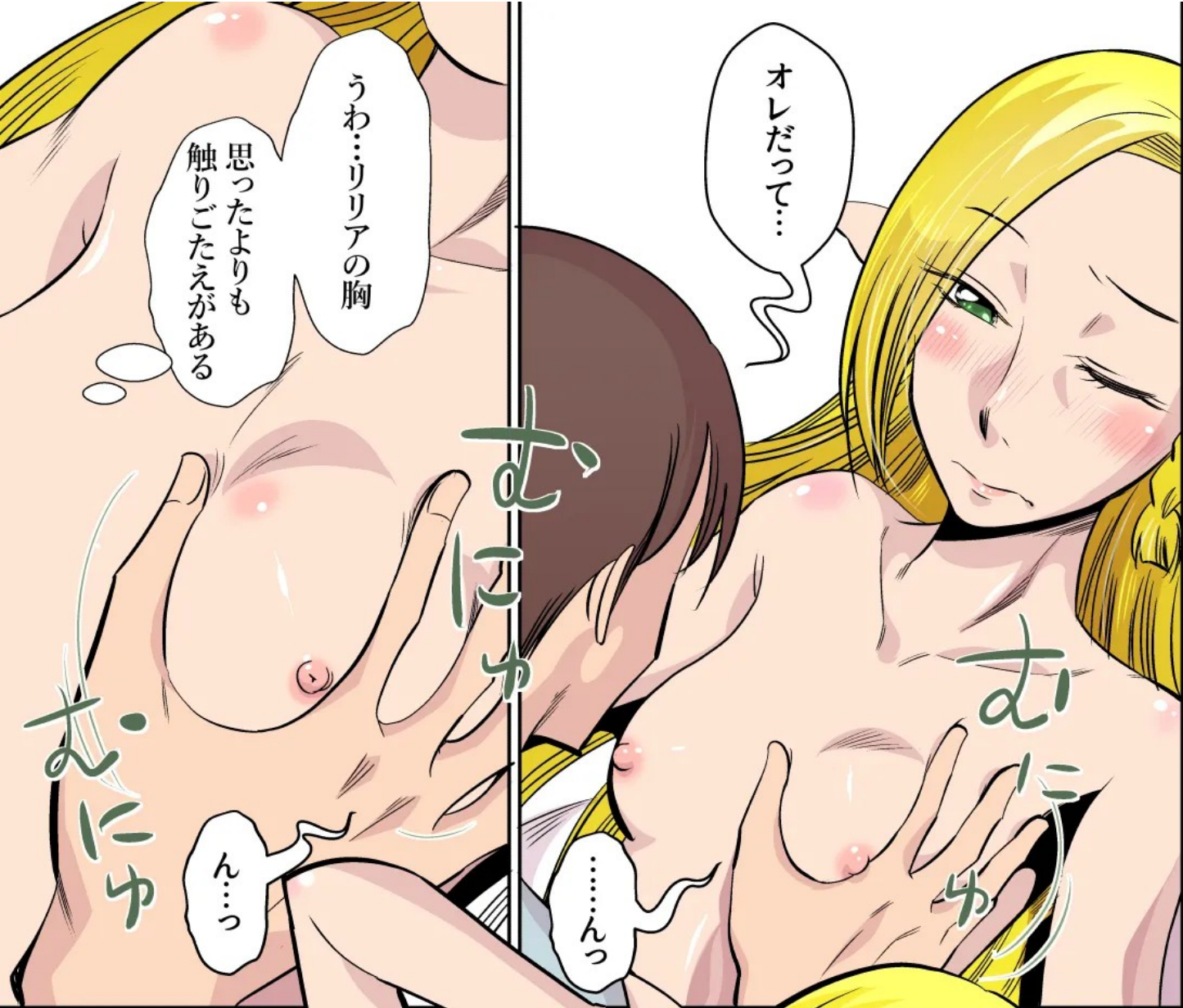


は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

上手くできて  
いたでしょうか？



オレだって…

うわ…リリアの胸

思ったよりも  
触りごたえがある

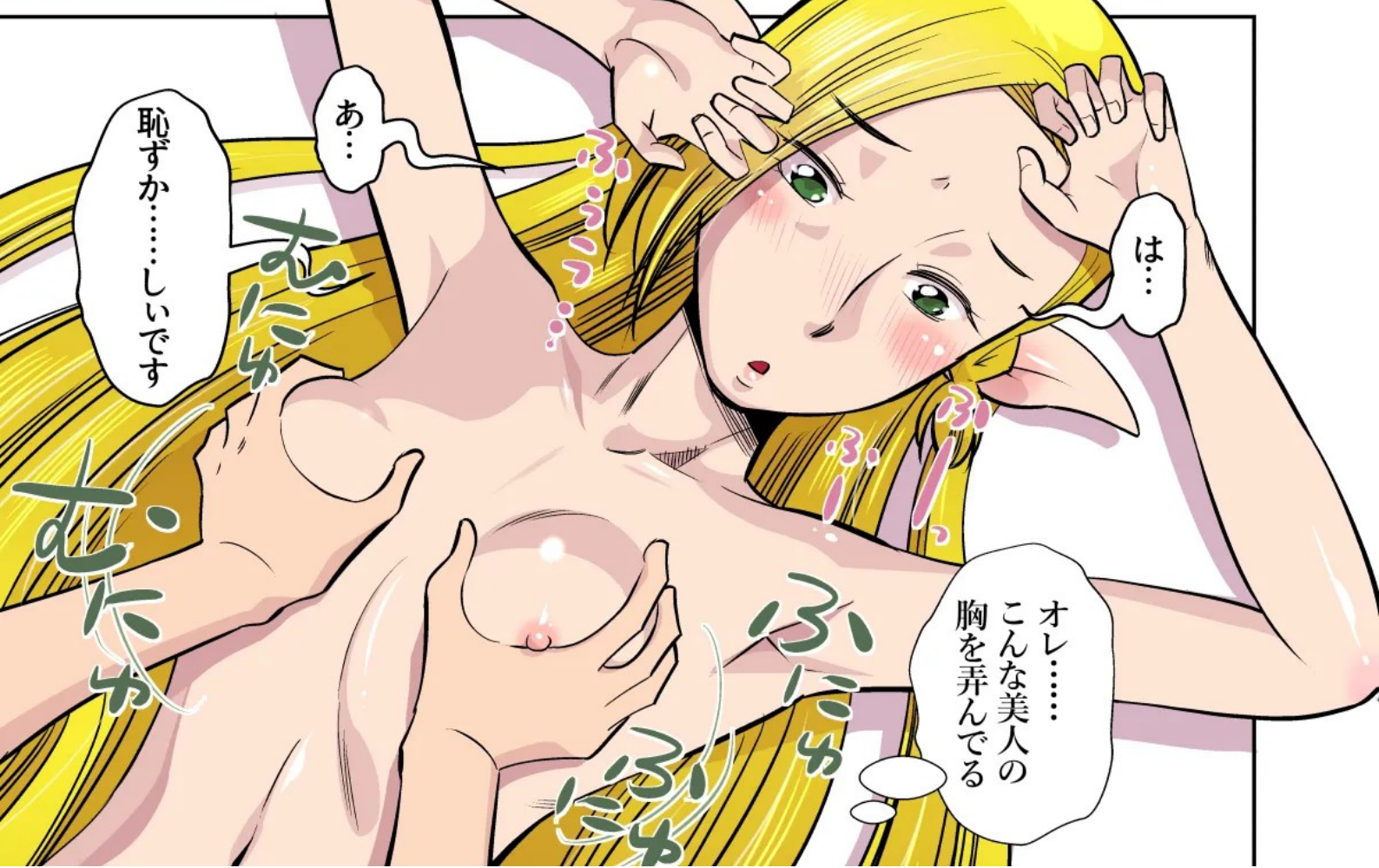
むにゃ

おにゃ

むにゃ

ん…っ

…んっ



は…

オレ…  
こんな美人の  
胸を弄んでる

あ…

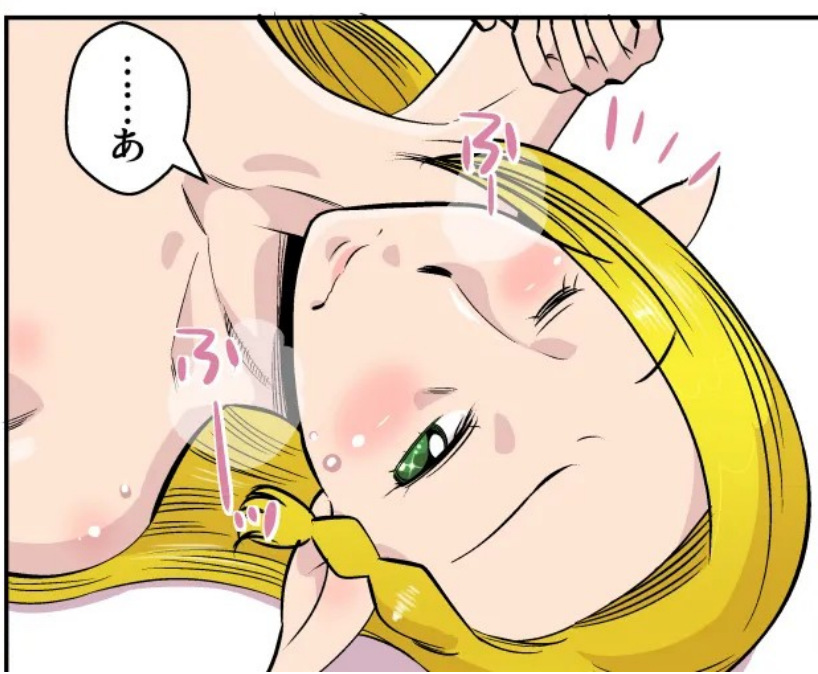
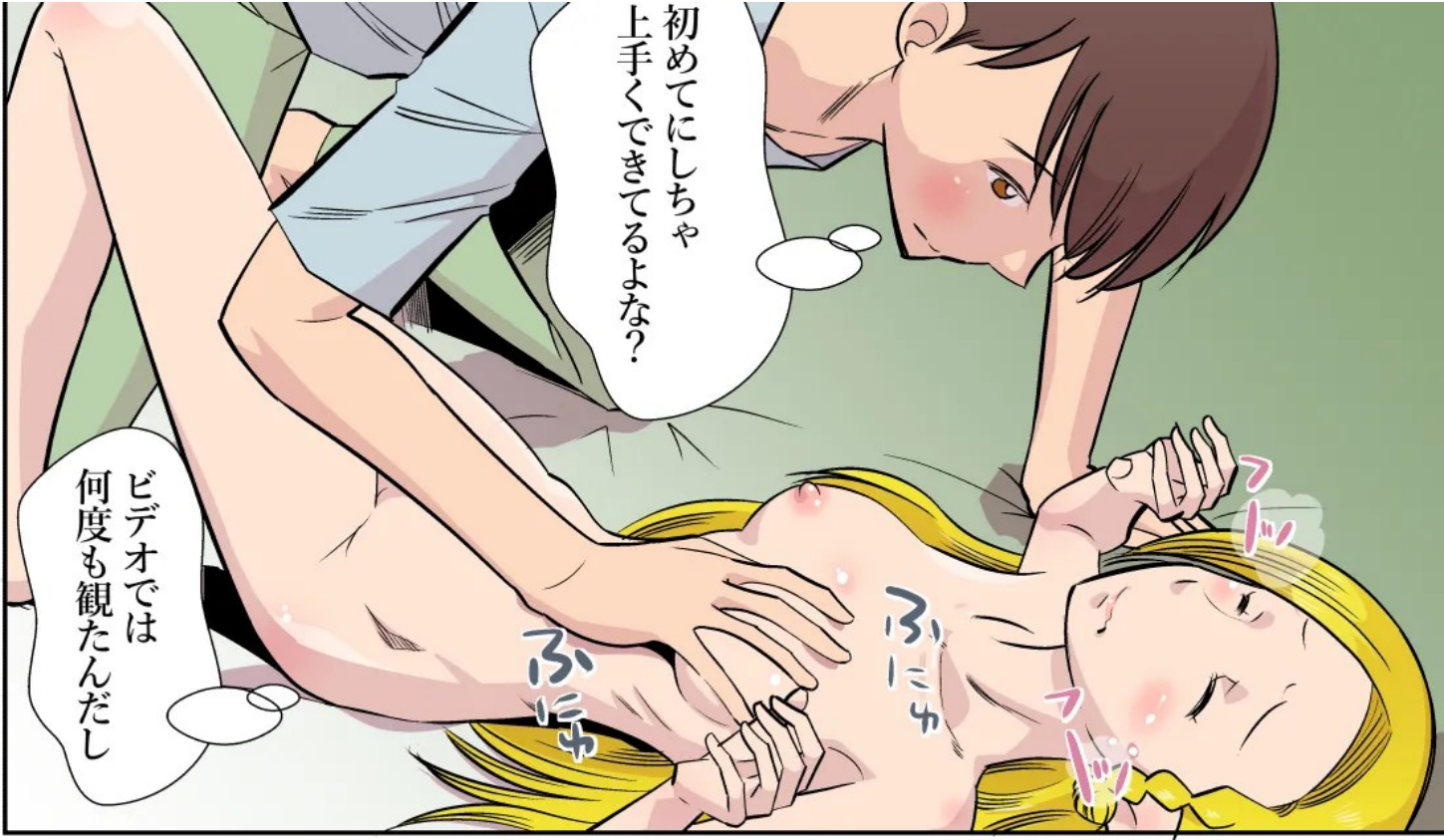
恥ずか…しいです

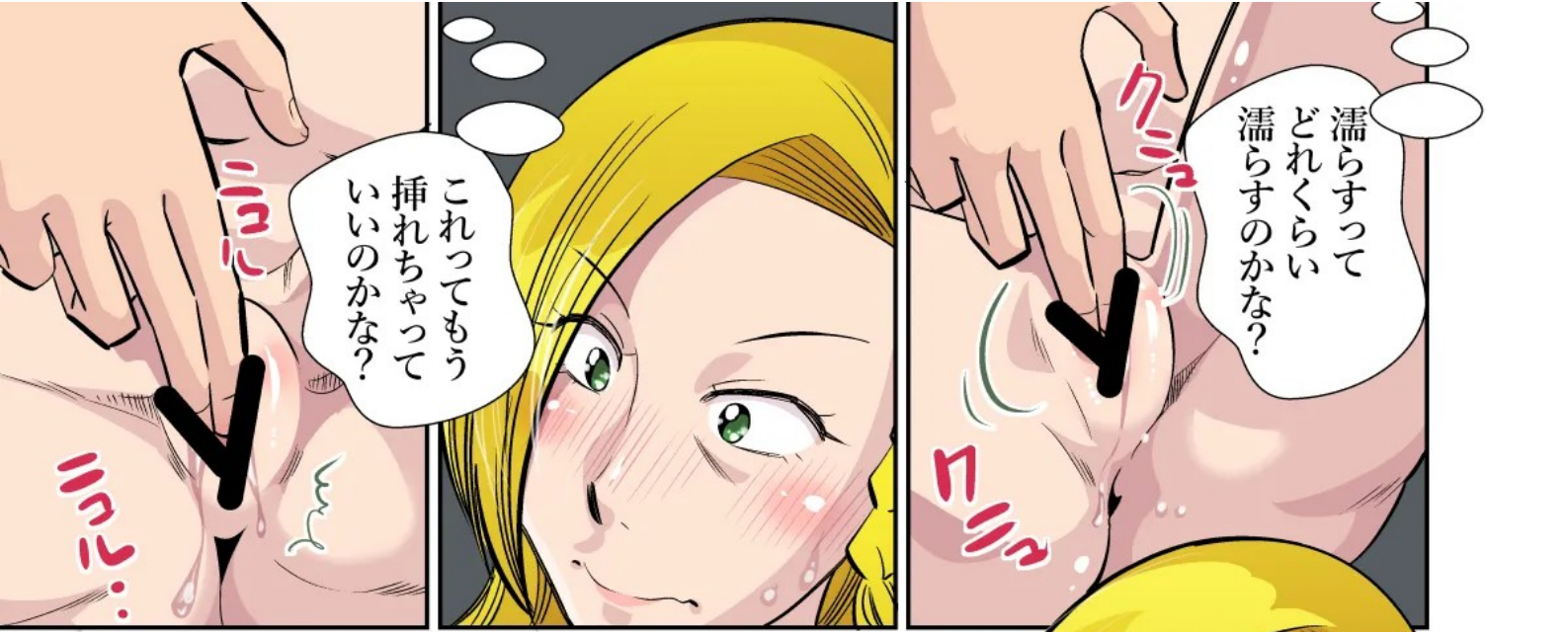
むにゃ

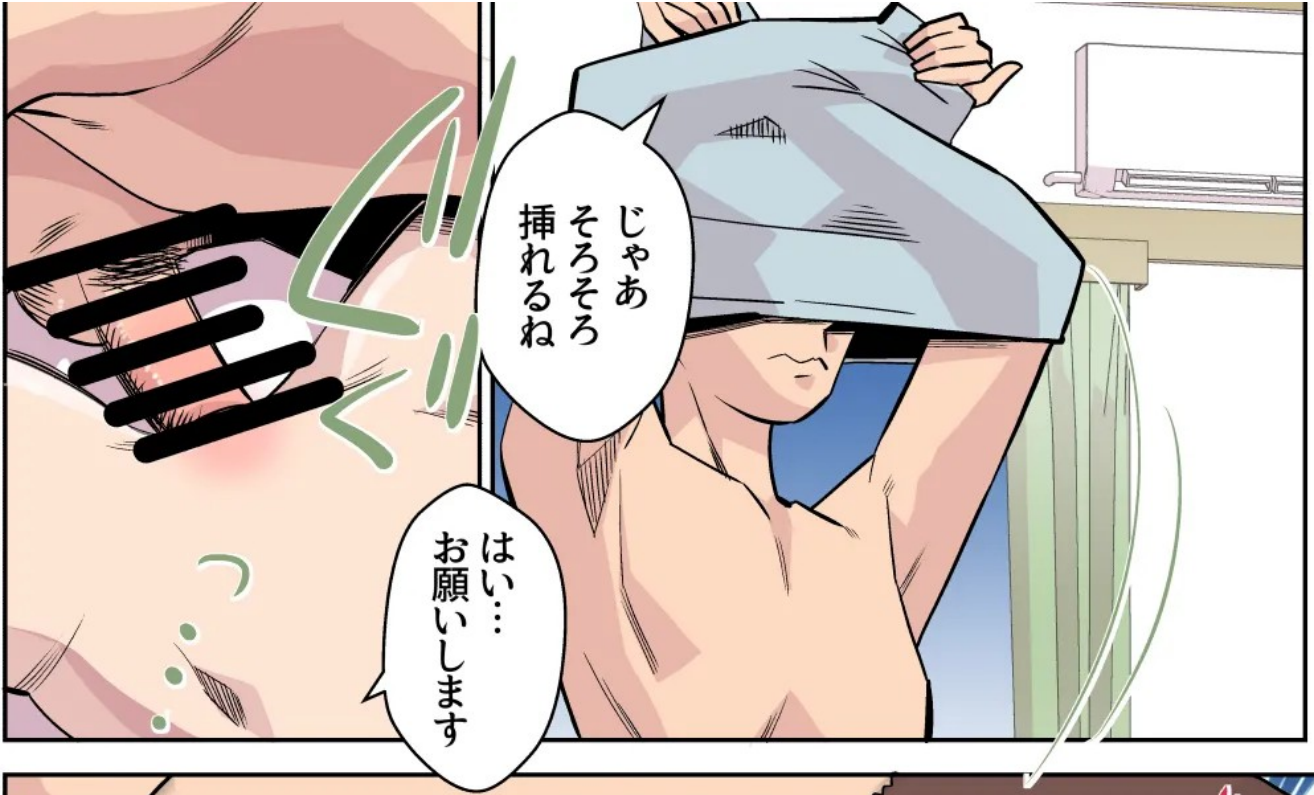
ふにゃ

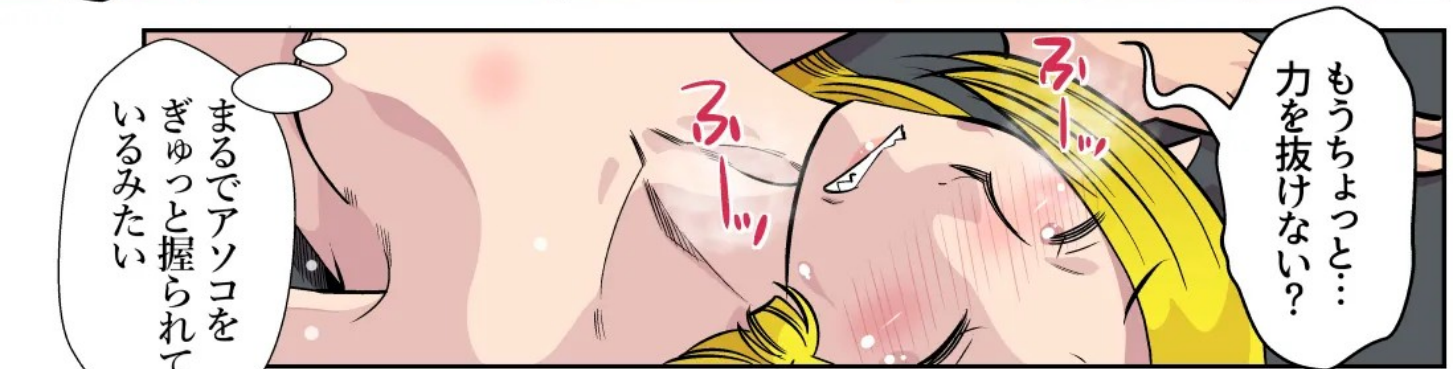
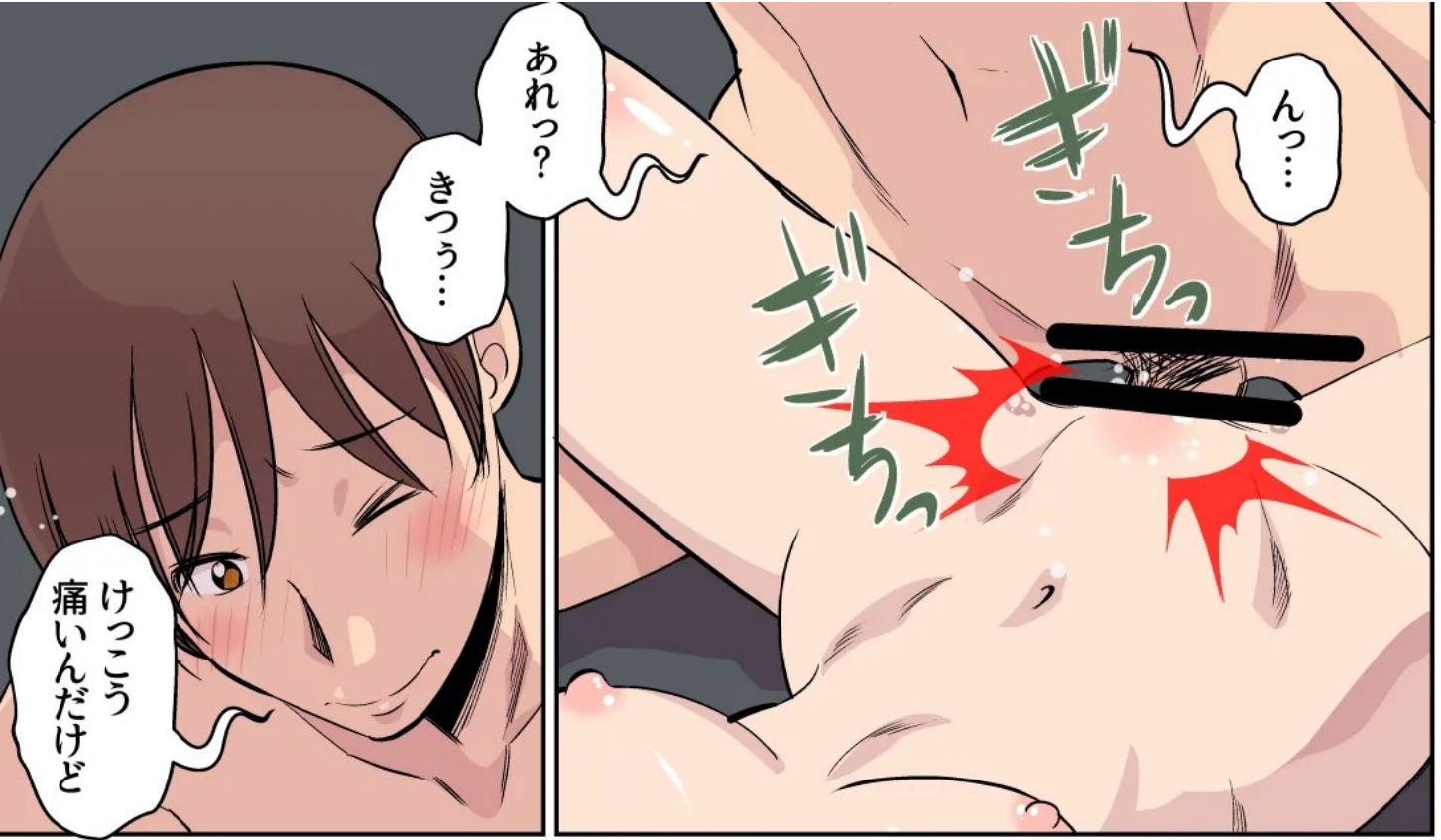
むにゃ

ふにゃ













早く終わらせてください



.....



ごめん  
今日はもう  
止そう

あつ……  
今のは……  
違うんです

そのッ



ごめん

オレが  
勉強不足  
だったんだ

「なんとなく」で  
できると思ってた



仕方ないよ  
痛かったんだろ？

大丈夫です  
我慢できます



……けど！

じゃあ……



どうすれば  
いいんですか

私は…

……ごめん

あせらず  
ゆっくりやってらっしゃい  
……このじゃ

ダメかな？

……



「エルフのお嫁さん 其の3」をお買い上げありがとうございます  
エピソード3という名のエピソード1です

ぼちぼちとしたペースですが  
進めていこうとは思っています

が、他にも描いてみたい漫画も  
たくさんあるんですよえ



01本  
尾野  
けぬじ

「この世界に来た意義はなっています」

「フスさんとっては自身を捧げることが」

「らすってれくらいらすのかな？」

「これってもう挿れちゃっていいのかな？」

「オレにとっては降って沸いた幸運だけど」

「受け止めてあげてください」

「……うん」

「ねえ、コタロー」

「今夜は私」

「疲れてませんよ」

「オレにとっては降って沸いた幸運だけど」

「オレの……を？」

「コタロー？」

「オレ……こんなキレイな娘と……しちゃうのか？」

「挿れるってこの娘に？」

# 嗚呼！藍川道場 尾野けめじ

「夫婦は」

「そんなふうに見られると」

「夜を共にするもの」

「ですねよ」

「待って……」

「だって未だに信じられない」

「恥ずかしいじゃないですか……」

「ご……いめんけどやっぱり見ちゃダメ……」